

黒石団地区防犯パトロール隊（熊本県）

活動地域と団体の概要

皆さん、こんにちは。熊本県合志市黒石団地で防犯パトロール隊隊長を仰せつかっております児玉と申します。私たちが居住します熊本県合志市は、熊本市の北西部に隣接し、人口約5万7,000人、熊本市のベッドタウン化が進む人口増加地区です。

黒石団地区は合志市の西南部に位置します。面積約1平方キロで、自治会員が約1,000世帯、3,000人を数えます。

私鉄の駅も隣接して熊本市中心部へは15分。国道も近くを通り、交通アクセスが大変良い地域です。

黒石団地区防犯パトロール隊は、平成17年5月に結成され、9年目を迎えます。結成時は老人会の高齢者がいつまでも元気で地域に貢献しようとの趣旨で防犯パトロール隊ができました。現在は自治会ボランティア団体の一つとして活動し、36人の隊員が活動中です。



活動の概要～パトロール隊の取り組み

主な活動として、毎朝、地区内3カ所で登校時の児童の見守り、交通誘導をしています。週に2回は、小学校前など3カ所で児童の下校に合わせた見守り活動を実施します。学校が休みのときは、団地内のパトロール巡回を実施しています。また、月に3回自治会の役員と一緒に、青パト隊と当隊による夜間パトロールもやっています。

今年1月、地区内の中学生が車の中から声を掛けられ、後を付け回されるという事案が発生しました。そこで、中学校の部活終了後の下校時間に合わせ、通学路から地区内、団地内、隣接する私鉄駅、公園などを警戒範囲とし青パト5台と同乗者10人で毎日当番制でパトロールを実施しています。一昨年の5月には、自転車盗難が多発する黒石駅駐輪場で、大津警察署の二輪車ツーロックキャンペーン



ーン運動に、我々パトロール隊もチラシ配り、ツーロックの声掛け実施に協力しました。これは現在も毎週月曜日継続しています。

年間の活動状況を見ますと、24年度の出動回数は126回、延べ人員769人、隊員の出席率102.5パーセントになってます。防犯パトロール隊として、地道な活動ではありますが、区民に対して、防犯に対する啓発がパトロールセンター速報等で徐々にではありますが、認識と成果を上げております。これからも子供たちの見守りと広報活動で地域の安全・安心のために、継続こそが大切だと自負しております。これから先の報告は、自治会青山副区長にさせていただきます。

活動の概要～自治会の取り組み



黒石団地自治会副区長の青山と申します。ここからは自治会の取り組みについてご説明申し上げます。一昨年8月に、地区公民館にパトロールセンターを開所しました。また、去年3月に、熊本電鉄黒石駅入口付近に防犯カメラを自治会予算で設置しました。どちらも自治会では、熊本県内初ということで、各方面から注目されました。それぞれ設置に至った経緯をご説明申し上げます。

一昨年1月、防犯カメラ設置のきっかけとなる連続ひったくり事件の最初の事件が発生しました。3月に2度目のひったくり事件が、すぐ近くで発生しました。住民から不安の声が上がり、また、私たち自治会役員もこれはなんか変だということで、パトロール速報を慌てて全校に配布しました。しかし、この辺までは、私たち自治会役員も防犯パトロール隊も、あまり重大に考えておりませんでした。ひったくりなど、3、4年に1度発生するくらいでしたから、そのうち収まるだろうと安易に考えておりました。

しかし、4月に3度目のひったくり事件が発生し、ついに怪我人まで出てしまいました。私たちは、ボランティア団体だけに任せておくことではないと思い、ここから自治会と防



犯パトロール隊の地域一丸となった取り組みが始まりました。まず最初に4月11日から3日間ひったくり撲滅キャンペーン・パート1を実施しました。自治会役員、防犯パトロール隊で、大津警察署須屋交番の協力を得ながら、駅前のコンビニ駐車場で、黒石駅ホームで電車から降りてくる女性客を中心にチラシを配布し、注意を喚起しました。

ところが、5月に4度目のひったくり事件が発生します。そのとき配ったチラシには「ひったくり犯が黒石団地を狙っている」とセンセーショナルな書き方をしました。まさに私たちの地区はひったくり犯に狙われていた状況でした。同時に5月16日から3日間、2度

目の撲滅キャンペーンを実施しました。大津警察署生活安全課の警察官と公民館前など4カ所で立番警戒しました。その5月16日のことです。犯人は私たちの警戒している姿を見て、今度は国道から反対側へ向かい、500~600メートルくらい離れたところで事件を起こしました。ここに私たちが今、夜間パトロールをやっている意味があります。私たちは、地区の警戒をしていれば犯人がこの警戒に気付き、大きな事件は起きないということを学習しました。5月20日に大津警察署、5月23日に合志市役所へ事件解決のための陳情に伺いました。「どうか黒石団地が安心して住みよい地域になるよう助けてください」と訴えてまいりました。その後数日して、犯人は黒石団地内で捕まり、事件収束のチラシを配布することができました。



青パトによる夜間パトロール出発風景

その間、大津警察署生活安全課からご指導を賜り、様々な防犯グッズ、赤色回転灯、青パト用の回転灯などを支援していただきました。大変心強かったです。そして8月23日、これまでの反省と教訓を踏まえ、黒石団地区自治会パトロールセンターの開所に至りました。パトロールセンターの駐車場には、パトカーという文字の白線引きを致しまして、大津警察署や須屋交番の警察車両がいつでも駐車できるようにいた

しました。同時期に青パト3台を使ったパトロールが可能となり、夜間パトロールも始まりました。

このようにして、ひたたくり事件をきっかけに自治会と防犯パトロール隊の本格的な取り組みが始まり、黒石団地に平和な暮らしが戻ってきたかに見えました。しかしその後、半年間で、痴漢、声掛け、二輪車盗、ひたたくりなどが発生しております。それぞれの事件で、パトロールセンター速報を配布していますが、連続ひたたくり事件が終息した後も事件が続くということは、黒石団地の治安が悪くなったということを意味しています。その原因として、まず第一にこの地域の人口の急増が挙げられると思います。黒石団地の東隣には最近、黒石団地と同規模の団地ができました。また、私たちの地区も、この6年間で120世帯増えました。そして2番目に、これは自戒の意味も込めて申し上げます。人口の

急増に伴う私たちの住民の意識がついていってないということが言えると思います。

そういうわけで、この防犯カメラの設置に至りましたが、国道から入ってくる車両、黒石駅に出入りする人や車に目を光らせています。去年12月には、LEDの夜間照明も点灯し、24時間態勢が整いました。また、防犯カメラの運用指針を掲載した速報で、全世帯に周知徹底を



黒石パトロールセンターの

青パトの導入

夜間パトロールの開始

防犯カメラの設置

図りました。これまで防犯パトロール隊が実施してきました昼間の子供の見守りに加え、自治会が前面に出て、パトロールセンターの開所、青パトの導入、夜間パトロールの開始、防犯カメラの設置と、次々と施策を打ち出してきました。今後はこれらの施策を末永く継続していかなければなりません。

活動の成果と今後の課動

私たちは、防犯の意識が地区の自治会の全体の一人一人にしっかり根付けば、犯罪は大幅に減ると考えております。そのために、まず第一に、この夜間パトロールには、自治会員全世帯に、その当番が回ってくる仕組みを作り上げました。夜間パトロールに参加することによって、会員一人一人が自分たちの安心安全は自分たちで守るという意識が芽生えてくるものと期待しています。夜間パトロールが始まって2年になりますが、高齢者や体調の悪い方は免除をしておりますので、現在のところ参加率は5～7割程度です。

自治会の総会では、防犯対策は自治会の最優先施策として位置付けられました。そして防犯費の出費が認められました。昨年度から防犯費としてパトロールセンター関係、夜間パトロール経費が新たに認められました。早速、昨年度、青パト用の回転灯3台を追加購入し、青パトを6車両に増やしたところです。両費目とも今年度はさらに増額しております。また、防犯パトロール隊の助成や防犯カメラの設置費用などは別枠ですので、今年度は自治会総予算1,000万円のうち、約2割近くが防犯関係経費を占めております。



パトロールセンター開所1周年記念
安心安全のタベ in 黒石団地



また、パトロールセンターを開所して1年になるのを記念して、去年8月に「安心安全のタベ in 黒石団地」を開催しました。県警音楽隊をお招きして、みんなで安心安全を考えようという趣旨で開催致しました。このようにして黒石団地自治会では、これまで防犯に関してはパトロール隊にお任せという感じだったのですが、今回の連続ひったくり事件や地区内の治安悪化を受け、自治会でもいろいろ取り組んでまいりました。下の写真は平成24年度に配布したパトロールセンター速報です。それぞれ一斉に世帯各戸に配布しております。黒石団地内の事件はもちろんですが、熊本県警から配信される県内で発生した振り込め詐欺の情報なども提供しております。

まだまだ治安は良いとは言えませんが、防犯カメラを設置してあります私鉄駅を起点と



するひたたくりや駅駐輪場での二輪車盗がほとんどなくなりました。しかし、今年2月から、立て続けに3件発生した車上ねらいは看過できません。そのためにパトロールセンター速報を早速配布し、さらに事件2日後には、注意喚起ポスターを地区内50カ所に貼り出しました。また、北方面での事件が集中していることから、本年度予算で、この地域に防犯カメラを1台、同じくパトロールセンター前にも1台、合計2

台を設置することが認められました。それで、計3台の防犯カメラが地区の安全を見守ることになります。

このようにして、黒石団地区自治会では、防犯パトロール隊を中心に自治会を挙げて防犯対策に取り組んでおります。これも、防犯パトロール隊に、これまでの地道な8年間の活動があつてのことです。今後も合志市や大津警察署のご指導を賜りながら、地域住民一丸となって、末永く防犯対策に取り組んでまいります。ご清聴ありがとうございました。